

## 解答

一

問一	(ア) 兆候	(イ) 伝承	(ウ) 独創	(エ) 誠意
問二	A 文化	B 論理	C 感情	
問三	4, 6			
問四	3			
問五	1			
問六	(1) 相手の感情をいたわること			
問七	(2) 共同の前提となる統一された文化			

二

問一	a	2	b	3	c	2
問二	1					
問三	4					
問四	4					
問五	2					
問六	1, 5					

三

問一	4
問二	白い道は どこまでも
問三	2
問四	1 B
	2 B
	3 A

四

ア	7	イ	2	ウ	8	エ	6	オ	1
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

## 解説

一

問三 第三段落に着目します。「個人の心理の内奥を、おそらくしぐさはのぞかせるものである。」という記述から選択肢4がふさわしいことがわかります。また、同時に、しぐさは一つの文化であり、社会のさまざまな集団につたわるもので、個人としてのしぐさ、社会に共通のしぐさをもつという内容から、選択肢6もふさわしいことがわかります。

問五 「客観的に観察すると、あいづちというのはなにかしら異様に同調的な態度をきわだたせてしまう」という記述に着目すると、――線③の意味として、ヨーロッパ人のものの見方を客観的であると考えると、日本人のあいづちを観察していることがわかり、最もふさわしいものは選択肢1になります。

二

問二 ―線①の後にある「まり子は、だんだん手も足も首までちぢんでいくようなばあちゃんを見るのが、いやだった」、「まり子のばあちゃんは、いつでも元気でたのもしくなければいやだった。」という記述から、選択肢1がふさわしいことがわかります。

問四 ―線③の後にある、ばあちゃんのおまらが消えていることを知ったまり子の様子に着目します。ばあちゃんが、ねえちゃんにめいわくかけたくなって、朝からお茶も水ものまなかったことに気づいたという内容から、最もふさわしいものは選択肢4になります。

## 問三

□の後には、「荒野」や「旅」が続いているので、たとえられている同じことばとして最もふさわしいものは、選択肢2の「人生」になります。

## 問四

「日も 月も / 流れて行きます / 愛もまた流れ去る」の部分から、過去の失恋であることがわかり、「今まさにかなわぬ恋に心を痛めている」という記述を含む選択肢1はBになります。また、詩の終わりには「風のつよい日 / 遠くの野には花があると / じぶんがいい聞かせて 歩きました」とあり、つらい日にもめげずに前に進む様子が伝わってくるので「明るい未来が目前に広がっていることを暗示したもの」という記述を含む選択肢2もBになります。「遠くの野には花がある」は、前後にある「風のつよい日」、「じぶんがいい聞かせて 歩きました」から、未来の希望を表していることがわかるので、選択肢3はAになります。